

競技注意事項

1 競技規則について

2025 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

- ① 3 ゲート（1500m スタート地点後方）にトラック競技出場者の招集所を設置する。トラック競技出場者は招集開始時刻までに集合すること。第 2 競技場から招集所までは徒歩で 5 分程度かかるため、注意すること。
- ② 跳躍競技は現地招集とする。投てき競技は、投てき場にて現地招集とする。
- ③ 招集開始および完了時刻は競技規定に記載のとおりである。
- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑤ 競技者は競技開始 10 分前に、各競技場所でユニフォームを着用した状態で最終確認を受けること。
- ⑥ 複数種目に出場する競技者で、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、多種目同時出場届に必要な事項を記入し、招集所競技者係に事前に提出すること。多種目同時出場届は主将会議で配布する。また、事前に栃木陸協 Web サイトにも多種目同時出場届を掲載する。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ① アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に 1 枚ずつ確実につけること。女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように 4 ケ所で確実に留めること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に 1 枚つけるだけで良い。
- ② トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。腰ナンバーは招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後はフィニッシュライン前方の 2 ゲートで回収する。
- ③ ランニングシャツの形状により、裾を外に出して出場する場合は、必ず腰ナンバーが見えるようにすること。
- ④ 4×400mR については、胸背部特別ビブスを使用する。競技者は招集開始時に招集所にて特別ビブスを受け取り、胸背部につけること。競技終了後、特別ビブスはフィニッシュ付近にて回収する。

4 競技場で使用する競技用靴について

- ① スパイクピンの長さは、9 mm 以内とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11 本以内とする。ピンの形状は全天候舗装の競技場で使用できる物とし、土のグラウンド用のピンを使用することは禁止する。
- ② 靴底の厚さは、トラック競技・フィールド競技ともに 20mm 以内とする。
- ③ 靴底の厚さの検定は必ず実施するものではないが、招集所審判長およびトラック・フィールド各審判長の判断により、検定を実施する場合がある。
- ④ シューズについては、WA（世界陸連）の認証品リストを確認の上、使用すること。

【WA（世界陸連）Web サイト；[LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES](#)】



- ⑤ 砲丸投・円盤投・ハンマー投において、短距離用スパイクシューズのピンを取り外して使用することは禁止する。

5 棄権について

出場種目を棄権する場合、本競技会においては特に申し出なくとも良い。

招集完了時刻に競技者が招集実施場所に来ておらず、同一時刻に他種目に出場する旨の連絡もない場合は、棄権したものとみなす。

6 練習について

- ①練習に際しては競技役員の指示に従って安全に練習すること。
- ②練習会場の開放時間・使用場所については、栃木陸協 Web サイト等でも別途提示する。
- ③練習会場は主に第2陸上競技場を使用し、別に定める注意事項に従って、練習を行うこと。
- ④第2競技場のメインスタンド下雨天走路は、ジョギングと体操のみ使用を許可する。
第2競技場のバックスタンド外側の雨天走路は、ドリルや流し等の使用を許可する。
雨天走路は一方通行で使用する。
- ⑤第2競技場の利用は大会当日8時から15時頃までとし、その後の整理運動等はカンセキスタジアム周辺で行う。
- ⑥大会前日の13時から16時30分まで、および大会当日の7時30分から8時50分までは、カンセキスタジアムでの練習を許可する。トラックの使用区分は別に定める。投てきピット、芝生フィールド内での練習は禁止する。
- ⑦カンセキスタジアムのバックスタンド下雨天走路は、7時30分から使用可とする。
- ⑧カンセキスタジアム1階管理通路および2階の外周での練習は不可とする。
- ⑨投てき場隣のクレイグラウンドを投てき競技出場者用の練習場所として開放する。ジョギングや流し、MB投げなどの練習は、周囲に注意して実施すること。投てき用具（砲丸・円盤・ハンマー・やり等）を用いた練習については禁止する。
- ⑩投てき用具を用いた練習は、大会前日13時から16時30分まで、投てき場においてのみ許可する。ただし、安全管理のため、円盤投は13時から14時30分まで、ハンマー投は14時30分から15時30分まで、やり投は15時30分から16時30分までとし、種目ごとに練習時間を区分する。大会当日の投てき用具を投げる練習は、競技開始直前の公式練習に限る。
- ⑪総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習（ハードルやボール等の使用）は禁止。

7 競技者の入退場について

- ①招集完了後の競技者がスタジアム内に入場する際は、3ゲートからの入場とする。
- ②スタジアム内の雨天走路への入場は、3・4ゲートからとし、メインスタンド1階中央からの入退場は禁止とする。入退場の際は競技の妨げとならないように注意する。
- ③スタジアム内競技場所への出入りは競技者のみ許可する。なお、雨天走路ならびに大会前日および当日の練習可能な時間帯のみ、スタジアム内への付添人や指導者の入場は可とする。
- ④トラック競技に出場する競技者は、フィニッシュ後はバックストレート側を通過してスタート地点に戻る。フィニッシュ後にメインスタンド前を通らないこと。
- ⑤フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従うこと。

8 競技について

- ①フィールド競技（走高跳・棒高跳以外）はすべての競技者が3回の試技を行った後、上位8名がさらに3回の試技を行う。
- ②トラック競技は、不正スタート1回で失格とする。
- ③長距離種目において競技運営上、著しく遅れた選手や体調不良で競技続行が不可能と判断される競技者に対し、審判長が競技を中止させる場合がある。
- ④投てき競技はすべて、投てき場で実施する。
- ⑤各競技の結果はスタジアム大型スクリーンで発表し、Web上の速報サイトにも掲載する。

9 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順、リレーについて

- ①トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。ただし、男子4×400mRの予選については、例外として招集完了時刻の30分前（8時10分）を提出締切とする。リレーオーダー用紙は主将会議で配布する。また、事前に栃木陸協Webサイトにもリレーオーダー用紙を掲載する。
- ③リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。
ただし、同一のチームと判別可能であれば、形状が異なるユニフォームを着用しても良い。

10 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について（※審判長の判断で、変更することもある。）

- ①バーの上げ方は競技規定に記載のとおりである。
- ②雨天の際は協議の上、高さを変更することもある。
- ③三段跳における踏切板の距離については男子12mと10m、女子10mと8mを設置し、競技者の選択制とする。

11 競技用器具について

- ①競技に使用する用器具は、競技場備え付けのものその他、検査を受け合格したものも使用できる。
- ②棒高跳用ポールの検査は、招集後現地（競技場所）にて行う。
- ③砲丸・円盤・やり・ハンマーについては、各種目競技開始2時間前～1時間30分前までに、会場内の検査場にて行う。
- ④検査で合格した投てき用具については、主催者にて預かり、主催者のものとして使用する。
- ⑤リレーや走高跳で使用するマーカー（テープ）は、競技者が各自で準備すること。

12 その他

- ①競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ②各チームのスタジアム内待機場所については、栃木陸上競技協会が指定した場所とする。
コンコース内にテントを設営することは認めない。また、競技場外の公園敷地でのテント設営は一切禁止する。
なお、各チームベンチとして自由席・雨天練習場・更衣室等を占領してはならない。
- ③貴重品をはじめ物品の管理は、各自・各チームの責任の下で行う。
- ④スタジアム内1Fのトイレは、100mスタート付近の正面スタンド内トイレを使用すること。
出入りについては100mスタート付近からの出入りに限定する。(スパイクでの使用は不可)
- ⑤更衣室については、男女ともスタジアム2Fトイレ内の更衣スペース等を使用する。
また第2競技場の更衣室も使用可とする。
- ⑥スタジアムでの横断幕設置は、観客席最前列の手すりにひもで縛って設置すること。ただし、メインスタンドおよび1～4ゲート上の設置は許可しない。また、競技の妨げとなる状態で設置しないこと。横断幕の縦の長さが長く、競技場内の競技者の移動や競技の妨げになる場合には、大会運営本部の判断で撤去する場合がある。なお、のぼり旗は全面禁止。
- ⑦ユニフォームやバッグ等の商標に関する規定については、日本陸連の指針に則った対応とする。(下記QRコードから閲覧できる日本陸連公式サイトを参照)

競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕
[05_101632.pdf](#)



13 災害時の避難について

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。